

宮沢地区公民館だより



令和 4年 8月 1日
発行：宮沢地区公民館
電話・FAX 22-0433

中沢川アダプト事業

えんてい 中沢川砂防堰堤整備作業

7月14日(木)朝5時30分から中沢川砂防堰堤(大正9年完成)の草刈り作業が行われ、刈り払い機で砂防堰堤周辺を整備しました。砂防堰堤は、土砂災害防止の為に施設で、土石流など上流から流れる土砂を受け止め、たまった砂を少しずつ流すことにより下流に流れる土砂の量を調整します。中沢川砂防堰堤は、山形県で最初に建設され、国の登録有形文化財になっています。また宮沢のシンボルである翁山の玄関口でもあることから、大勢の登山者のみなさんをきれいな環境でお迎えすることができています。貴重なこの施設を残すため、地域で守り管理しています。ご協力していただいた皆さんありがとうございました。



笹巻&梅シロップ作り教室

7月15日(金)に講師に菅藤広一さん、信子さんを迎え、笹巻の形が三角形になる作り方を教えて頂きました。広一さんは、「笹巻の作り方を今覚えないと知っている人が居なくなる」と思い、隣のおばあさんに聞きに行き覚えたそうです。参加者の皆さんは、「結び方が難しい」と何度も聞いて覚えていました。笹巻を茹でている間に梅シロップを作りました。ビンに梅 300gと氷砂糖 300gを入れて、毎日ビンを1~2回振ると2週間位で氷砂糖が全部溶け、出来上がりです。これから暑くなるので氷を入れて飲むと体の疲れも取れる事でしょう。



山刀伐ハス園

山刀伐ハス園の蓮が咲き始めた。蓮の花は日の出とともにゆっくりと時間をかけて開き、お昼には閉じてしまう。お昼過ぎても咲いている蓮は、その日を最後に散ってしまうとも言われている。池の中から真っ直ぐに茎を伸ばし、美しいたたずまいで咲いている。そんな花を見て心癒されにやってみてはいかがでしょうか。【宮沢翁塾】



お知らせ

芭蕉の道フラワーロード 除草作業

- ・日時 8月6日(土)午前5時30分~(約1時間)
 - ・場所 宮沢小学校前の県道
 - ・持ち物 草刈りカマ等
- ※早朝作業で大変ですが、多くの方のご協力を宜しくお願いします。

おきな茶屋 ヨガ教室

8月10日(水)/8月24日(水)
時間：10:00~11:00
場所：尾花沢市地域交流センター
参加費：500円
持ち物：ヨガマット
(なければバスタオル)
※感染症拡大予防のため、体調の優れない方の参加はご遠慮願います。当日の参加もできます。

新型コロナ感染状況により、予定が変更となる場合があります。また、参加する際は感染対策を行いましょう。

【8月の行事予定】

日	時間	内容
1日(月)	13:30	歴史保存会役員会
5日(金)	10:00	市内歴史保存会交流会
6日(土)	5:30	フラワーロード除草作業
9日(火)	9:30	夏休み子ども体験教室
10・24日(水)	10:00	おきな茶屋ヨガ教室
27・28日(土・日)		おばなざわ花笠まつり
31日(水)	9:00	おきな茶屋

防犯診断にご協力を!

少年非行の原因となりうる乗り物の盗難、車上狙いを防止することを目的に、今年度も防犯診断を実施します。防犯協力員・防犯連絡員・消防団の方が家庭訪問し、自動車・バイク・自転車の鍵の施錠確認を行いますので、ご協力よろしくお願い致します。

実施期間：8/3(水)~8/24(水)
防犯協会宮沢支部



交通安全協会宮沢支部：主催

交通安全教室参加者募集!

日時：9月7日(水)
午前10時~12時まで
場所：宮沢地区公民館
内容：①ゆとり号の運転適性検査 30分/1人
②KYTで運転時の危険を学ぼう
締切：電話で8月22日(月)まで
※先着順受付、名前、生年月日、住所、電話番号をお願いします。
22-0433宮沢地区公民館まで



宮沢地区の人口と世帯

(7/1現在)(前月比)
男 830人 (-3)
女 832人 (-3)
計 1662人 (-6)
世帯数 596世帯(±0)

山刀伐峠の子宝地藏尊春例大祭

濃紫のあざみ花と山帽子の白き花満開の6月24日山刀伐峠子宝地藏尊春の例大祭が興われた。朝、雨になるかなあと思いながら心配しての催し、10時の開始と共に雲ではあるが雨の心配はなくなり、新型コロナウイルスの1日も早い終息と子ども達の健やかな健康を祈りました。赤倉、一列、市野々の各区長15名の参加です。広場の仮テーブルに持ち寄りのご馳走を並べ、故郷を歓談しました。笑顔。笑顔。笑顔。

秋の例大祭は芋煮会をやろうと約束し、峠を下山しました。特に翁山のたけのこ入り五目御飯は格別美味しかった。

市野々区長 山口忠博



集落の交流の橋として

.....なかじまばし.....

7月7日(木)午前9時、晴れ、渡り初め開通式。以前の橋は、88年経過して老朽化したため、橋梁長寿命化計画に基づき、平成30年3月に撤去し、約2年間かけて工事が始まり、令和4年6月23日「なかじまばし」が完成しました。簡易水道も埋設され中島と行沢集落に供給されています。

安全祈願祭に始まり、お祝いの乾杯、主催者の吉田中島区長から「なかじまばしが、みなさんのご協力とお力添えで完成し、開通式を迎えることができました。集落の皆さんの交流の架け橋として、地域の活性化になることを期待したいと思います」とあいさつがありました。次に、市長はじめ来賓のお祝いのあいさつがあり、花笠踊り披露、テープカットを行い来賓から地区民で渡り初めました。



おきな茶屋 笑顔で再開・再会

ボランティア団体、はなみずき主催の「おきな茶屋」が、7月6日(水)市地域交流センターで開かれ、31名が参加しました。

新型コロナ感染予防のため約2年6ヶ月ぶりの再会となり笑顔で会いました。代表の猪股咲子さんから「みなさんのご協力ですべて再開でき、うれしく思います。また、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。」と挨拶がありました。

菅根市長から「平成31年に、ここ地域センターがオープンした事を思い出しました。宮沢地域の交流の拠点として活用してください。みなさんが参加しやすいように、今回市のバスを準備しました。これからも、しぶとく健康に生活しましょう。美味しいものを食べましょう。楽しい事をしましょう。」と励ましの挨拶がありました。

次に山口齊さんのオルガンの演奏で、今月の誕生会を行いました。市社会福祉協議会の菅藤生活コーディネーターから、「地域で楽しく、仲良く、活動的に暮らしていくために」と題して、出前講座があり、手作りの映像を鑑賞しました

次回おきな茶屋は8月31日(水)予定です。お楽しみに！



ふるさと物語③ 行沢の親鸞聖人作雨降り地藏

五木寛之の小説「親鸞」に、鎌倉時代に親鸞が越後の国に流罪されていたとき、大旱魃で苦しむ農民のため全身全霊を念力に込めて雨乞いをし、雨を降らせ民衆を救った一節がある。その親鸞を明光寺の僧が越後に訪ね、懇願して地藏尊を彫ってもらい明光寺に持ち帰った事が『明光寺盛衰記』にある。経緯は省略するが明光寺が焼き払われた時、密かにこの地藏尊を移したのが現「行澤山全堯院」と言う。ここまでは伝説だが以下は史実である。

この地藏尊は親鸞聖人入魂作だけに、特に雨乞いに霊験があり、必ず雨をもたらすと言われ、いつしか人々は「雨降り地藏」と呼ぶようになり広く県内に知れ渡っていた。旱魃になると村山方面からも人々が全堯院に集い、雨降り地藏を正面に大規模な読経祈祷が行われた。その後、眼下に流れる丹生川に移り地藏尊をだいて若者が川の淵に入り「雨たもれ、雨たもれ」と呪文を唱えた。この際、地藏尊は本尊の国宝級秘仏では勿体ないと身代わりの「お前仏」を入水させた。数日後必ず大雨が来たと言う。『栃平の一本杉』三浦庸著。前号に記した昭和18年の大旱魃でもこの雨降り地藏を祀り雨乞いをしたという。霊験が顕れ8月12日から豪雨になったと云う。だが残念なことに昭和21年全堯院が留守中に火災に遭い、この雨降り地藏とお前仏が焼失してしまった。

本市最後の「雨乞い」が平成6年(1988)8月に延沢城址の「天人すず」で行われた。どんな旱魃時でも水の枯れない天人すずにあやかったもので、すでに新鶴子ダムの共用(平成3年)が始まっていたが市内にはダム受益外の田も多く、特産のスイカ農家も困っていた。私はビデオ記録のため参加したが、天人すずを清掃したあと延沢官主が奉幣修祓、全員で祈願した。延沢公の御利益が顕著で数日後の8月20日夕刻から大雨が到来した。

私事だがこの日同級会を銀山温泉で開いていた。我家にもダムの受益外の山間田があり旱魃で困窮していたので、雨音を聞きながらの飲み会は最高のひと時で忘れられない。

文責 宮沢地区歴史保存会 三浦 幹雄

夏休み

夏だ、スイカわり&クッキング教室

宮沢地区子ども会の主催で、夏休み体験教室を開催します。

- 1、日時 8月9日(火) 9時30分~15時30分
- 2、場所 宮沢地区公民館 マスク着用してね
- 3、内容 DVD鑑賞、スイカわり、カレー作り
防犯標語の看板作り

【児童17名と保護者の参加予定】

